

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

8月26日は「火山防災の日」です

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台
2024年4月

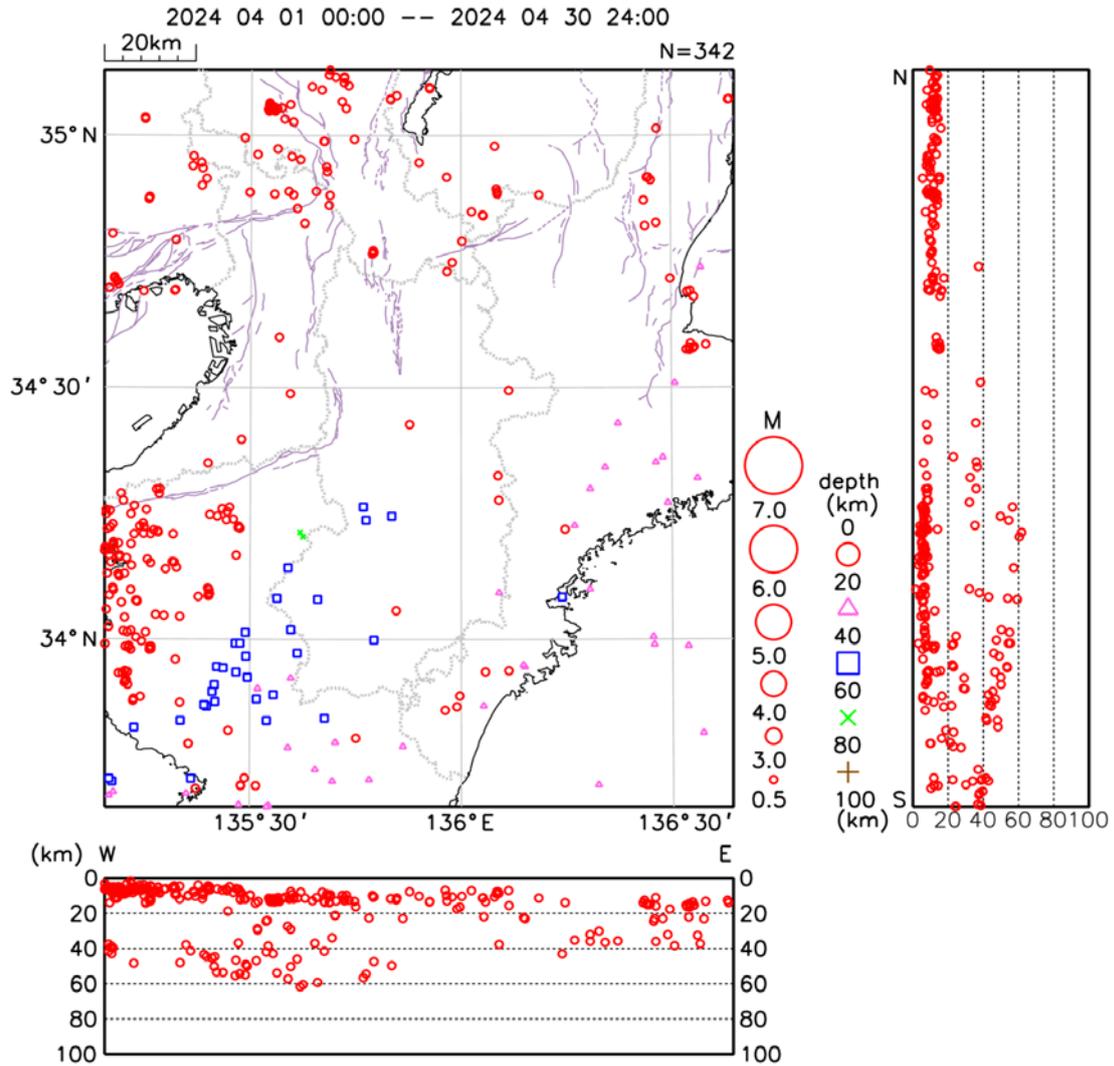
本誌の過去分は奈良地方気象台ホームページでご覧いただけます。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.html>



【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

震央分布図（左上）は、地震が発生した場所を地図上に表し、記号の大きさと地震の規模（マグニチュード、Mとも表記）と記号の種類で震源の深さを表しています。また、紫色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表しています。南北方向の断面図（右上）と、東西方向の断面図（左下）で地震の垂直分布を表し、これらにより地震の発生状況と規模が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

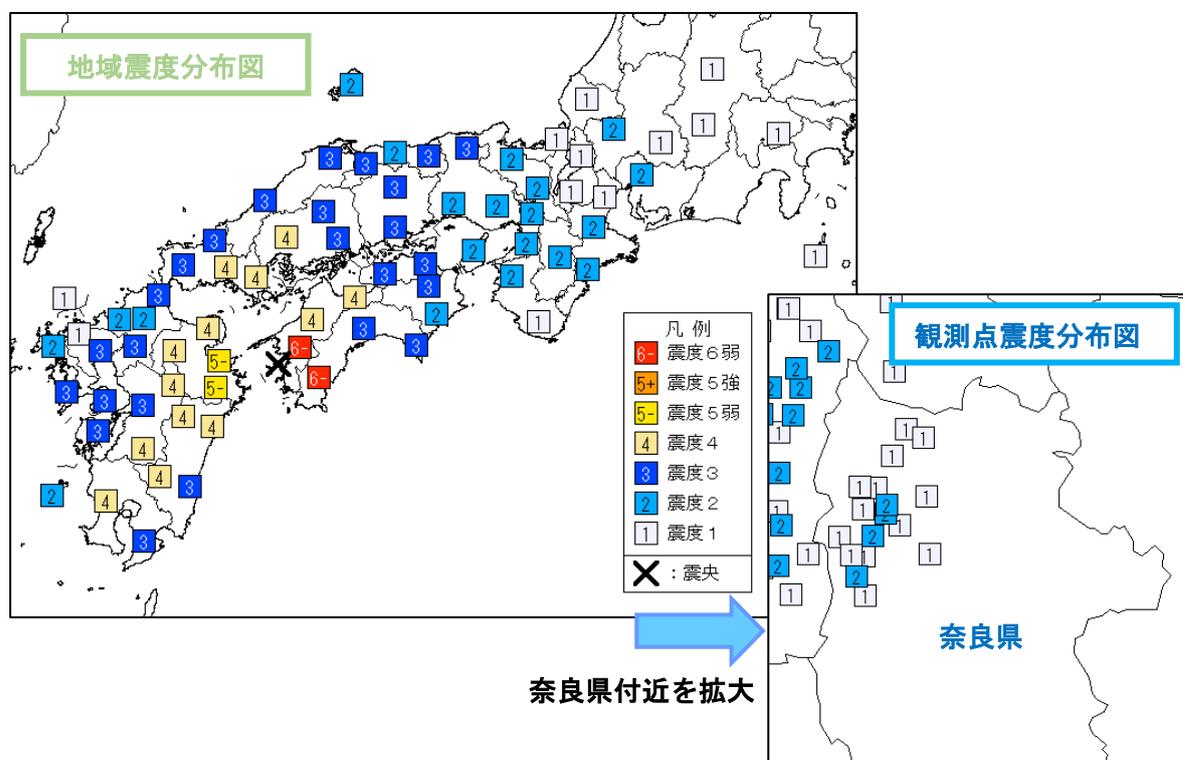
17日23時14分 豊後水道の地震（最大震度6弱、深さ39km、M6.6：震央分布図範囲外）により、奈良県内では川西町、三宅町、広陵町、葛城市で震度2を観測したほか、11の市町で震度1を観測しました。

【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度（奈良県内のみ記載）					
2024年04月17日23時14分	豊後水道	33°12.0' N	132°24.5' E	39km	M6.6
震度 2：奈良川西町結崎*、三宅町伴堂*、広陵町南郷*、葛城市柿本*					
震度 1：奈良市西紀寺町、奈良市二条大路南*、大和高田市野口*、大和高田市大中*、大和郡山市北郡山町*、天理市川原城町*、桜井市粟殿*、御所市役所*、香芝市本町*、斑鳩町法隆寺西*、安堵町東安堵*、田原本町役場*、河合町池部*					
*印は地方公共団体等の震度観測点です。					

【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

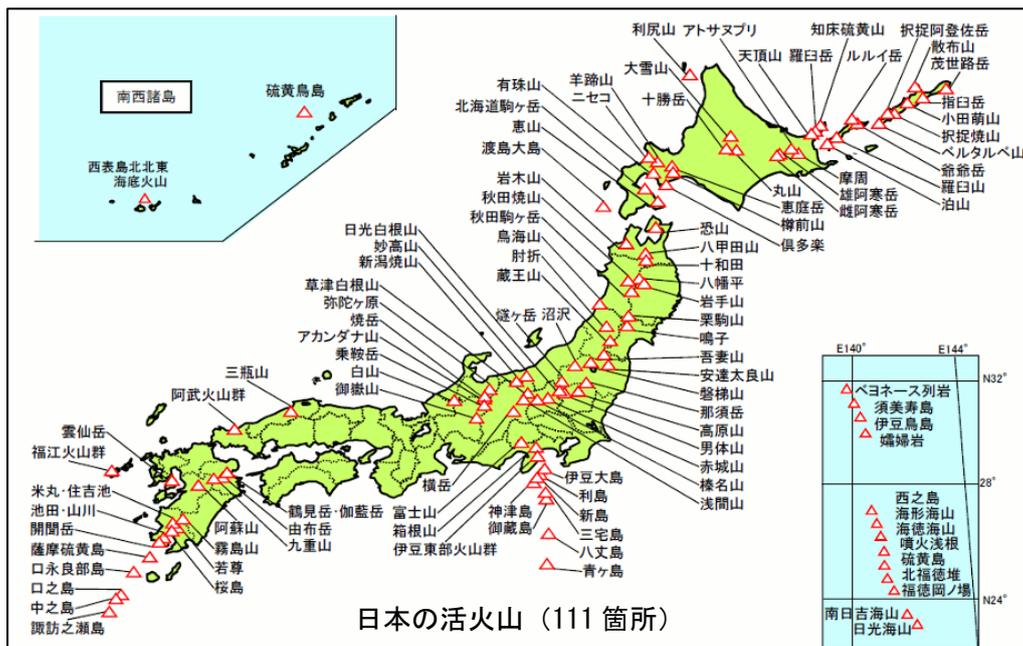
2024年04月17日23時14分 豊後水道 33°12.0' N 132°24.5' E 39km M6.6



【地震一口メモ】

～8月26日は「火山防災の日」です～

奈良県にお住まいの方は、普段の生活で火山を意識することは少ないと思いますが、概ね過去1万年以内に噴火した火山や現在活発な噴気活動のある火山を活火山と定めています。世界に約1500の活火山があり、そのうち日本には111の活火山があって日本は世界でも有数の火山国と言えます。



近年、富士山の想定される火口の範囲の拡大や、鹿児島県の桜島で大規模噴火の可能性が指摘されたことなど、日本全国で火山活動が活発化した際の備えが急務となり、活動火山対策特別措置法が改正されました。この改正では、火山調査研究推進本部の設置や8月26日を「火山防災の日」と定めることなどが盛り込まれています。8月26日は、明治44年(1911年)に日本で最初の火山観測所が浅間山に設置された日です。

火山災害から身を守るためには、気象庁が発表する火山防災情報に基づき、噴火警戒レベルに応じた行動をとることが重要です。情報は、気象庁ホームページやテレビ、ラジオ、携帯電話、防災行政無線などで確認できます。また、火山防災マップで事前に情報を収集し、避難場所や想定される火山現象を確認しておくことも大切です。

8月26日の「火山防災の日」や9月1日の「防災の日」をきっかけに、「火山防災の日」特設サイト(※)などをご覧ください、火山への理解を深めてください。

※気象庁「火山防災の日」特設サイト：下のURLや二次元コードからアクセスできます。



<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/kazanbosai/index.html>

